

さくら

題字 足立区長

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
連合会長 中田 貢弘
編 集 広報部会
発行日 2005年11月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1



千寿小2年 須田 ななみ 作

目 次

全 員 研 修 会	2
各 部 会 紹 介	3
福祉事務所長紹介	4
	5
介護ってなあに	6
子育て応援団	7
足立 凧まつり	
民 児 協 便 り	8
編 集 後 記	

民生・児童委員の皆さまと一緒に

福祉部長に着任し、約半年が経過しました。

この間、介護保険法の改正や、障害者自立支援法制定など、社会保障制度はまさに変革の時期を迎えております。これからの保健福祉は、地域で暮らし続けられるシステムづくりが最大の課題です。これらの課題を解決するキーワードは、区民の皆さまや民間事業者の方々との協働です。どのように役割分担をしていくのか、また、どう連携をしていくのかが問われて参ります。そして、それが今後の足立区の保健福祉を大きく左右して参ります。

民生・児童委員の皆さまは、福祉保健行政の最大のパートナーです。民生・児童委員の皆さま！ よ

足立区福祉部長 丸山 亮



り良い足立の保健福祉づくりを
ご一緒に進めて参りましょう。

幸いにも私たちは、永年にわたり互いに協働を培って参りました。このパートナーシップを互いの努力によって、ますます発展させていきたいと存じます。

最後になりますが、今まで拝読していました「さくら」に、こうして参加できましたことに、心から感謝申し上げる次第です。



——全員研修会——



台風11号が近づく8月25日、全体研修会がギャラクシティで開催されました。中田連合会長より「活動記録の提出が1月より100%を続けている。」というお話に続き、ご来賓の方がたのご挨拶がありました。広報紙への絵画掲載協力児童への感謝状贈呈、石川政策経営部長による「足立区政と福祉民生・児童委員は最大のパートナー」と題しての講演で一部を終了。二部で

は民生・児童委員でもある下田尚保さんによる「のこぎり演奏」。不思議な音色にただ感心するばかりでした。次に第一、第七中学校の身障者学級による「ソーラン節演舞」は皆さんの熱演に感動。夏休み中に猛練習したのではと、裏方で支えた方がたにも心温まる拍手がおくられていました。

(5地区 松本 はな子 記)

▲中央写真 左より 中田連合会長、角田足立区助役、森高東京都地域福祉推進課長、浅野東京都民生児童委員連合会副会長(江東区民生児童委員協議会会長)



▲さくら 採用絵画 児童の皆さん



◀ 石川政策経営部長



◀ 下田尚保民生委員

第8号表紙 花畑西小2年 菊地陽花子さん
 展示会に出すため、うさぎ小屋で書きました。
 今日はとても面白かったです

お子さんの感想

栗島小4年 永田峻也君 夕日に鳥が飛んでいるところを書きました。図工が授業で一番好きです。今日はちょっと緊張しました。

足立区は活動記録提出 100% を目指します



介護相談部会
山田智恵子

介護相談部会

介護保険が導入されて早くも5年になりました。私も介護相談部会は3年間あらゆる角度から、介護保険についての相談を受けた場合に対応出来るよう学習してまいりました。そして、3年の積み重ねの上で、実践部会として何ができるか、話し合った結果、特養、グループホームを訪問して実際に学習しようという意

見がまとまり、それぞれ合同別に6月より毎月施設の訪問を始めました。時を同じくして介護保険の見直しの時期にあたり、まずその内容について学習をしました。大きく取り上げられた介護予防の問題、また成年後見制度における高齢者の経済予防についてなど難しい問題ばかりですが、実践と学習両面で努力してまいりました。



児童福祉研究部会
鈴木宏往

児童福祉研究部会

少子化の昨今、一人でも多くの子どもたちが、他人の痛みがわかる豊かな人間性を持った大人に育ってくれることを沢山の人が望んでいると思います。また社会もそれを要求している筈です。「青少年の健全育成」文字で表し言葉で言うことは容易ですが、実践するのは並大抵の労苦ではありません。先輩各位が築き上

げてきた努力の成果を学び、参考にさせていただきながら、現在その立場にある自分達も活動していきたいと思ひます。そのためにも日々研鑽に努めてまいります。

会長協議会の皆様を始め、部員の皆様のご協力を頼りとして目的遂行を目指し、頑張っていかなければと思ひております。今後共によりしくご指導ご鞭撻お願い申しあげます。



障害者福祉研究部会
楠見 順二

障害者福祉研究部会

部会が発足し1年が経とうとしています。この間、部会員の皆さんと部会・講演（学ぶ会）研修等の活動を通じて共に研鑽してきました。部会の役割、活動について確認し合い、共通理解を広め、今後の活動に取り組んでいきます。16年度末より開始された、障害者（児）地域

サポートネットワーク・7福祉地区連絡会が、障害福祉センター（あしすと）・各福祉事務所のご指導のもと、着実に前進しています。障害者とその家族が、地域の中で安心して生活していくための支援策が積み上げられつつあります。部会員は福祉地区連絡会に民生・児童委員として協働体制を組んでいきたいと考えています。



生活福祉研究部会
阿部 英二

生活福祉研究部会

今期の改選において、生活福祉研究部会の部長を引き受け、部会員25名の方がたと活動をスタートしました。生活福祉は多様化する区民の要望に足立区の行政がどうサービスを供給していくのか。17年度部会研修計画として「福祉事業の基本を学ぶ」を活動テーマにしました。民生委員として活動経験の浅い私にと

って大変な任務と責任を感じています。都民連の部会研修に参加しても、都全域から参加する民生委員は経験豊富です、しかし日頃の活動、部会、地域研修会等の情報から足立区はどれをとっても自慢できます。これは先輩と関係行政の良きご指導があるからと、これからの部会研究会も部会員と行政の指導を得て活動できると意を強くした次第です。



高齢者福祉研究部会
柿崎 征一

高齢者福祉研究部会

近頃、高齢者を取り巻く社会情勢が急激に悪化し、高齢者の虐待・リフォーム詐欺・悪徳商品販売等、被害が数多く報告されています。これらを勉強するため、社協の渡辺一郎氏の講義を受けました。足立区内外、被害の多寡、これらを守るための行政の姿勢、業者への罰則、高齢者への予防の啓発であり現行の行政指導の制度だけでは不十分であると感じまし

た。高齢者を被害から守るためには、条件の整備がより重要であり、地域福祉権利擁護事業・成年後見制度・クーリングオフ制度・消費者センター業務の充実が急務であると思います。起きてからでは遅いため、地域の人々の目を見て、お付き合いの中で相談・通報し合い、民生委員本来の活動として迅速な行政との連携で、未然に防ぐことが一番の良策であると感じました。



主任児童委員部会
小泉 貞廣

主任児童委員部会

平成16年度12月1日より48名の部会委員が新たに構成され活動することとなりました。増え続ける児童虐待に、充実した対応をするためと捉えております。この虐待問題を悲惨な結果に終わらせないようにするためには、早期発見が一番重要です。学校や児童相談所、子ども家庭支援センター等の関係諸機関と速やかに連携をとり、情報を共有して対処するのが肝心な事と考え

主任児童委員としての役目

ております。半数は新人の主任児童委員部会ですが、あせらず一つずつ問題解決に向けて、力を合わせて活動していく所存ですので、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



東栗原小1年
根本 恵美 作



広報部会
平田 幹明

広報部会

私達広報部会は平田会長、高野・宮本両副会長を軸に、22名の部会員が一丸となって紙面作りに活動しています。広報紙「さくら」は創刊号より9号まで既刊して、現在、10号の完成を目指しております。部会員のテーマの提供により「人々の幸せを願って」の思いを込めて、活発に討議の上適時選択をし制作して

います。今まで資料あるいはそれぞれの担当地域での問題提起により福祉全体を理解してまいりました。福祉の最前線を広く認識するため、取材を行い知識の詳細を把握するものであります。広報紙「さくら」は全民生・児童委員各位に福祉の再度の理解（把握）と最前線の現況などを啓発することを姿勢としています。

（編集委員長 細井 力造 記）

福祉事務所が新しくなりました

中部福祉事務所

遠藤 吉夫 所長



すばらしい出会いに感謝

昨年4月以来、温かく仲間に使っていただき、ありがとうございます。これからも皆さんとの出会いを大切に、地域福祉に邁進します。どうぞ、よろしくお願いします。

《チョット自己紹介》——テレビマンガ 日本むかし話の口調でお読みください——

むか～し、むかし、会津の山のそのまた奥に、両親と姉弟の7人家族が仲よ～暮らしておったそう。今日もたくさん遊んで、家路を急ぐ3兄弟。——夕焼け空にカラスの群れ——家から聞こえる明るい笑い声、3兄弟の目に飛び込んできたのは、ムカ～シ、東京に嫁いだおばさん一家。なんとも都会的ないこの2姉妹。3兄弟の胸には、「おっかア～、オラも東京さ、いくだア～」の火が心に灯ったそうじゃ～。——それから40数年——オラは、まちのくらしを見守る心やさしい人々との出会いが始まったそ～なア。



平野小2年
谷 まりあ 作

——つづく——？

中部東地区担当

宮田 資朗 福祉部副参事



ふるさと あだち 夢の国

私は、男ばかりの4人兄弟の末っ子として、足立区で生まれ育ちました。名前は、私たち兄弟をとりあげてくれたお産婆さん（今では助産師というのが正しいのですが、）が命名しました。4番目の男の子なので、資朗（しろう）と決めたそうです。区立西新井小学校、第五中学校を卒業しました。中学校1年生のときのクラスはL組で、今では考えられないマンモス校だったのを覚えています。先生にも良くしかられませんでした。足立区は私のふるさと、夢の国です。時代は移り、周りの風景が変わっても、私の足立区に対する熱い思いに変化はありません。みなさんと共に手を携え、「ふるさと足立」のために、全力を尽くしてまいります。

中部中地区担当

今井 伸幸 福祉部副参事



あだちの福祉向上を目指して

4月から、中部福祉事務所に参りました今井と申します。足立区在住40年の生粋の足立っ子です。（花畑に住んでおります。）私は入区の際、西部福祉事務所に配属され、ケースワーカーを4年間経験しております。福祉事務所は、今回で2度目になります。民生・児童委員の皆様方には、ケースワーカー時代にもご厄介になりましたが、今回再びお世話をお掛けすることになります。当時に比べると、福祉の現場も非常に厳

しさを増しており、委員さんのお仕事も大変増えていると感じております。私も微力ではございますが、福祉の経験を生かして皆様と手を携えながら、頑張っ参りたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



平野小4年 村山 恵 作

千住福祉事務所

島崎 京子 所長



笑顔に支えられて

福祉事務所長3年目になりました。福祉の最前線で、職員ともども、民生・児童委員信条そのままの篤き活動に日々助けられてここまで来ることができました。民生・児童委員一人ひとりの人柄とその地域活動は、本当に素晴らしいと感じています。皆様との初めての出会いから、なぜか懐かしい気持ちがしたとともに、いつどなたにお会いしてもほのほのとした温かな気持ちになります。それはどこか、子どもの頃に感じた、大人の良識に包まれる安心感に似ています。

皆様の笑顔に元気を頂いて、職員一同今日もがんばっています。これからも千住福祉事務所をよろしくお願いいたします。



千寿桜小2年
寺尾 祐紀 作

東部福祉事務所

森 寛 所長



協働で築く地域福祉

常日頃よりご協力を賜りましてありがとうございます。さて、この5月より福祉事務所は新たな体制でスタートし、東部福祉事務所につきましては綾瀬川以東が新管轄区域となりました。幸い、民生・児童委員の方がたのご配慮により同じ綾瀬川以東の18地区、佐野地区、東綾瀬地区そして神明地区の4地区を新たな第二合同民協として再編成していただきました。また、今回の懇談会では、これまでの地域の見守りを一歩進めていただく形での「訪問見守り」ケースの検討・選定も終え、ケースワーカーとの同行訪問も始めていただいているところです。こうした先生方との協働を大切にしつつ地域福祉の一層の充実、前進に繋げていきたいと思ひます。よろしくお願い申し上げます。

北部福祉事務所

あきう
秋生 修一郎 所長



帰ってきました ふるさとに

仙台から山形に行く途中にある「あきう温泉」は、「秋保温泉」と書きます。私の友達の酒屋で季節限定で売っているビールは、「秋生」と書いて「あきなま」と読みます。数年前に、職場旅行で秋保温泉に行きましたが、1月末だったので、「あきなま」は売っていませんでした。なお、私の肝臓はそんなに丈夫ではありません。あたたまると、すぐ顔にでる体質ですの

西部福祉事務所

荻原 貞二 所長



福祉事務所は私のふるさとです

私には、中部・西部福祉事務所でのケースワーカー経験があり、福祉事務所へは3度目の異動となりました。長年慣れ親しんだ職場に戻ることができ、期待に胸をふくらませて仕事に取り組んでおります。

西部福祉事務所管内の特色は、都営住宅が集中していることです。そのため、生活基盤の弱い世帯が多く、管内の生活保護率が区の平均を大幅に上回っています。ケースワーカーは、被保護世帯の自立に向けて日夜汗を流しています。

そして、そのパートナーである民生委員の皆様にも、地域活動を通じて大きな力をいただいております。これからはさらに両者の連携を強くし、福祉の向上を進めていきたいと思ひます。



で、お間違えの無い様にお願いします。さて、どういう巡り合わせか、10年振りの福祉部、20年振りの福祉事務所勤務になります。役所に入って、初めての仕事がケースワーカーだったので、故郷に帰ってきた感じがします。でも、制度はどんどん動いていますので、今後もよろしくお願い致します。

さくらにゅーす

第一合同常東地区対行事

常東地区対では、恒例事業として、①水泳大会（個人戦56名・団体戦6チーム86名）千寿常東小学校プール、②野球大会（9チーム135名）日ノ出町緑地野球場、③親子ビーチバレーボール大会（11チーム60名）千寿桜堤中学校で開催し、新規事業では、フットサル教室（参加者32名）千寿桜堤中学校で行いました。当日、参加した小・中学生は、各町会・自治会を代表して、日頃の練習の成果を存分に発揮し、凛々しく輝いていました。また、各事業の開催日は好天に恵まれ、各会場は酷暑と参加者の熱気が充満し、力強い掛け声と気合いが響き渡っていました。また、夏休みに千住警察の方と街頭補

導を3回行いました。役員一同、青少年の健全育成活動に貢献するためには、気力と体力が不可欠だと実感した日々でした。

（常東地区 主任児童委員 加藤 鈴子 記）



▲写真提供 千住警察署

介護ってなあに

お年寄りの気持ちになって

介護教室の一環として、足立翔裕園にて高齢者疑似体験をいたしました。まず、足首、膝、手首、ひじに砂袋のようなものをつけ、目にはゴーグル。識別さえできないくらいボーッとします。耳には耳栓をし（近くで話す人の声がかすかに聞こえる）、背を丸くして歩くために、首に紐をかけひざあてのフックにかけます（体の不自由な人はまっすぐに立つとバランスが取れないそうです）。手にはシリコンで作ったような、重くて厚い手袋の上に軍手をつけます。「下に落ちているティッシュを拾ってみてください。」これがなかなか拾えません。こう

なると自分はすっかり病人の気分です。その姿で杖を突いてテーブルを一回り。「さあ自分で車椅子に乗ってください。」タイヤで作った重いサンダルを履き、やっとの思いで車椅子に乗ります。ブレーキや左右の回り方の説明があり、1階からエレベーターで5階の施設見学。椅子に座ったまま入浴できる風呂、ベッドに寝たままの入浴、リハビリのマッサージ、歩行訓練など。1階に戻るときには疲れて、車椅子を押してもらい帰りました。目、耳、体の不自由な方達が、毎日こんな辛い思いで過ごしておられるのかと思うと胸が痛みました。

（14地区 竹村 ウメ 記）



千寿桜小4年
成澤 七海 作



千寿双葉小4年
喜來 芳輝 作

社協 創立 50 周年 記念式典

足立区社会福祉協議会は、昭和30年、任意団体として設立。その後、昭和40年に社会福祉法人として認可された民間の自主的団体です。今年は創立50年という節目の年にあたります。

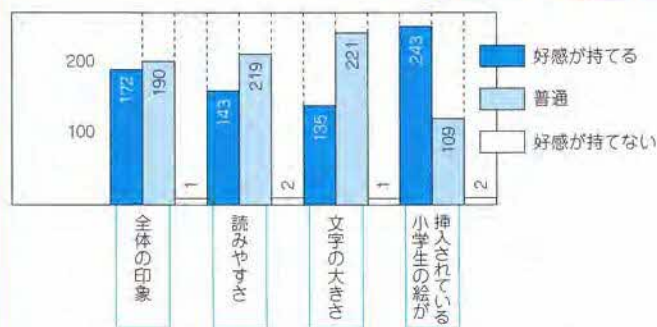
これを記念して今年の10月29日（土）に足立区役所庁舎ホールにおいて創立50周年記念式典・講演会を、さらに同アトリウム内にて50年の歩み展を開催しました。



北千住東口駅前での
赤い羽根街頭募金（10／1）

さくらにゅーす

アンケート回収数 380/488



民生・児童委員として知っておきたいこと

- ・ 少子高齢化の問題
- ・ 足立区の福祉行政について詳細に
- ・ 活動方法
- ・ 守るべき節度
- ・ 書類の書き方・問題が出たときの対応の仕方

広報についてどんな見方をしますか（複数回答）

- | | |
|---------------------------|-----|
| ① ばらばらと見る…… | 27 |
| ② 一応さっと見る…… | 232 |
| ③ じっくり腰をすえて見る…… | 98 |
| ④ 大事にとっておき後で見ようと思っている…… | 72 |
| ⑤ 広報委員になって広報紙を作りたい…… | 4 |
| ⑥ 発行回数（年に3回）をもっと増やしてほしい…… | 14 |

ご自由に

- ・ 各地域でのユニークな行事・長年継続しているような行事など紹介
- ・ より良い物を作るためには現状のままでよいということはないと思います。常に改良を！

読者コーナーを作るとしたら

- ・ 絵以外の子供の作品（作文・詩等）

都立城北養護学校の紹介

都立城北養護学校は、からだに障害のある児童生徒が通う学校で、小学校1年生から高校3年生までの約130名が在籍します。大部分の子どもが車椅子やクラッチ(杖)を利用しますので、バリアフリーの施設・設備や教材・教具などが整っています。学区は足立区の大部分と荒川区の全域で、リフト付きのスクールバスを利用して通学してきます。本校は小・中学校のような大集団ではなく、一学級3～6名で、一人一人に応じた「個別指導計画」を立てています。学習は年齢や学習課題の近い児童生徒を少人数のグループにして、教科の学習や自立活動などの授業を複数の教員(TT)で行っています。給食は離乳食のような食事などもあり、4種類の食形態を提供しています。機能の向上をねらいとした授業もあり、週に2時間、専門の教員が指導しています。身体や病気などの事情により、長期に学校へ登

校することができない児童生徒のためには、本校の教員が家庭や病院へ訪問して教育を行う「訪問教育」という制度もあります。高等部を卒業した後は、進学したり、作業所や通所施設に通ったりしています。また、近隣の花保小学校や花保中学校と交流したり、児童が住んでいる学区の小学校に定期的に通学する「居住地校交流」を実施したりなど、地域の学校とも交流しています。

11月24日は学校公開があります。みなさんは是非足をお運びください。

(東京都立城北養護学校
特別支援教育コーディネーター 白戸 明美)



城北養護学校4年
福岡 雄大 作

学校公開の都立城北養護学校を訪問して

私たち広報紙「さくら」編集委員4名は、取材のため学校を訪問しました。ここは身体に障害のある肢体不自由児の学校です。午前9時30分より学校説明があり、それから授業公開です。静かな雰囲気の中に佇む学校全体は、広々とした2階建ての校舎です。この学校へは7台あるバスで通学する子、保護者が送迎する子、寄宿舎から通う子がいます。生徒1.5人に教師1人の割合です。私たちは今まで障害者に対するいろいろな資料で知識を吸収し理解を深めてまいりましたが、何よりも子どもの明るさ、先生方の熱心さ、心温まる生徒への接し方、若い先生の力から現実を感じました。教師の方々は盲・ろ

う・養のそれぞれ教育を受けられていますが、障害も各々生徒によって違うため身体の状態に対応し、判断が必要とされています。呼吸器を必要とする子、タンの吸引が必要な子、その他いろいろな知識が必要とされ、その都度研修に出席し、知識を習得しているそうです。学校も教師もこの子どもたちの現実と未来に光を与えるご指導に深い感銘を覚えました。見学を終えての感想は「命を大切にし、輝いて生きる」というまさに学校の教育目標そのものでした。

(さくら 編集委員 細井・塩田・北島・川島)

みんせいがわらばん

緑のカーテン



「緑のカーテン」を知っていますか。緑のカーテンとは、校舎の壁面に高さ13m、横幅54mのネットを張り、そこにつる性の植物を絡ませ、植物でカーテンを作ったものです。本校では、昨年引き続き、壁面緑化に取り組んでいます。校庭の大型プランター42箱から140本のヘチマ、80本ずつのキュウリとゴーヤが、ぐんぐんと上にのびています。ヘチマは屋

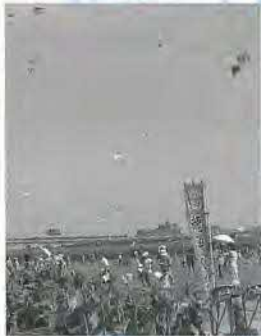
上まで届きました。屋上からはサツマイモのつるがたれてきています。巨大カーテンは、壮観です。700本も収穫できたキュウリは給食のサラダにもなりました。“緑のカーテン”が作る日陰によって、涼しい空間を体感し、子供たちは、実践的な環境学習を学ぶことが出来ました。

(中島根小 教諭 須藤 京子)

民生・児童委員協議会からのお知らせ

日 程	会議名	場 所
11月11日(金)	会長協議会	青少年センター第一会議室
11月14日(月)～17日(木)	合同協議会	区役所13階会議室
11月22日(火)	東京都民生委員・児童委員大会	文京シビックホール
12月9日(金)	会長協議会	区役所13階会議室
(平成18年)		
1月13日(金)	会長協議会(新年会)	
1月中旬～下旬	合同協議会(新年会)	
2月10日(金)	会長協議会・受賞者祝賀会	区役所13階会議室・14階ピガール

足立風まつり



小学生が夏休みの宿題として親子で作った風を、一堂に会して楽しむという“足立風まつり”は、今回で6回目を迎え9月3日に虹の広場(荒川河川敷)で開かれました。参加者は、区内の小学生2,200人を中心に延べ3,000人。9時の開会式後、待ちかねた子ども達が自慢のコマ風を広場一杯に揚げ出し、色とりどりの絵柄風が青空に乱舞して活気が溢れました。悠々と泳ぐ風、回転を得意とする風、落下を繰り返す風など様ざまに繰り広げられました。優秀作品には、区長賞をはじめ各賞を与える表彰式も行われて会場は緊張す

る場面もありました。後半には、日本風の会の方がたと子ども達と一緒に、本格的な大風や連風を揚げ歓声があがり、大空は一段と賑わいをみせていました。

(3地区 小菅 實 記)



とびっくす 祝 世界大会出場

民生系の近藤 博昭さんの長女 優季さんが8月13日～19日までロサンゼルスにて開催されたアフラ

ックカップ世界大会(競技エアロビクス・ジュニアの部)に出場しました。

編集後記

全体研修会での中学生による演舞は心洗われるものがありました。小・中学校の統廃合が進んでいます。皆さんも少子化ということばに寂しさを感じるのではないのでしょうか。広報紙を通して情報交換

し、地域の子どもたちを見守っていききたい。私はそんな思いで広報紙と関わっています。皆さんも情報などを投稿してご参加ください。お待ちしております。(広報委員 松本 はな子 記)

広報紙 掲載絵画の展示を行います

11月4日 午後3時～11月11日 午後3時まで 会場 区役所ロビー

皆様の原稿を募集いたします。次号発行予定日 3月1日

原稿に関しては紙面の都合がございますので、事前に地区の広報委員にご相談ください。

広報部会	部長	平田 幹明	副部長	高野 本勝	宮本 勝男	会計	須田 陽子	飯泉 節子	書記	大沢 稔	編集	細井 力造	校正	田中 榮一	編集委員	渡邊 正勝	川島 恵美子	角田 千恵子	茂出 木幸子	森脇 久仁子	田中 千恵子	塩田 博昭	北嶋 昭夫	編集委員	小菅 實	大久保 義子	松本 はな子	大城 忠男	山崎 久勝	内藤 喜代子	加藤 陽子	野田 尚保	下田 子保